



技術史教育

第126号

2021.4.30

Education for History of Technology

第126号目次

日本技術史教育学会2021年度総会・研究発表講演会の開催にあたって……山舘 順(1)
日本技術史教育学会2021年度総会・研究発表講演会開催案内……山舘 順(2)
「関西支部2020年度(通算第18回)総会・研究発表講演会」開催報告……南 正晴(3)
お知らせ・理事会議事録・編集後記 ……(4)

【総会案内】

日本技術史教育学会2021年度 総会・研究発表講演会の開催にあたって

2021年度総会・研究発表講演会実行委員会
実行委員長 山舘 順(サレジオ高専)

東京都町田市、多摩地域の新緑が目映い輝きを増し、今年度も総会の季節が近づいてきました。

昨年度に引き続きコロナ禍の現状、特に政府による三回目の緊急事態宣言を受け、残念ながら遠隔開催を予定しております。

開催場所となるサレジオ高専(以下本校)では技術について単に技能養成それ自体にとどまらず、技術史(専攻科)、技術者倫理(本科5年次)、地理・歴史(同1年次)などの科目を設定し、キリスト教を基礎にして人間を取り巻く過去現在の多様な背景の中で技術をとらえようとする「人間教育」を目指しており、実行委員もこれに沿うべく今年度も各位のご協力を得ながら開催にこぎつけたいと思います。

何かと不慣れな遠隔開催のためにお手数をおかけすることも予想されますが、ひとえに責任は実行委員長の微力にあります。

4月末現在10本ほど発表のお申込みをおうかがいしております

6月12日の土曜日、初夏の一日を多摩丘陵地の青い緑叢に思いをはせつつ、研究発表のひと時に知の喜びに浸っていただけましたら幸いです。自分にとっても先学のご発表に接する得難い機会です。

現在なお世界と日本のコロナ禍は予断を許さない状況にあります。コロナ感染症に対する対応をとってみてもはや文系理系一方向からのアプローチは限界を迎えつつあり、より複雑でしなやかな知とそれを支える技術の必要性が重要となり、それは本学会の柱といっても過言ではないと考えます。

しかし一方でかつてヨーロッパの中世末期に猛威を振ったペストがやがて来るルネサンスの新しい価値観に道を開いたように、現在の状況は新時代を予兆する

生みの苦しみの時期であり、混沌はその現れなのかも知れません。

新しい生活の諸形態が育つ時にこそルネサンスが到来するとはオランダの中世史家ヨハン・ホイジンガの主著「中世の秋」(兼岩・里見訳)の結びの言葉です。

第一次大戦後の混沌の中で同書は編まれました。ヨーロッパ各国の勢力角逐がついに総力戦の惨禍をもたらしたことが、若い歴史家だったホイジンガ(1872-1945)の過去に対する想像力を呼びさまし、それまではインドのサンスクリット言語を研究していた彼の大きな転換点となりました。

大戦後ホイジンガは下宿にこもり同時代の激しい渦から一時身を避けるようにして中世末期の年代記を読みふけり、その中に潜り込むように埋没します。そのことがやがてはるかな過去へといったんは身を沈めながら再び現実の同時代と向き合うという彼独特の姿勢を生み出し、ひいては「中世の秋」へとつながっていきました。

この挿話は先が見えない現在のただなかにいる我々にとりながしかのヒントを与えてくれるように思います。

この言葉をかみしめながら来るべき新しい知の状況に向けて各位の皆様が何等か予兆を感じることができれば実行委員として望外の喜びです。

あふれるような新緑の香りが増し、朝の天気の中に響く鳥たちの声は生着る喜びにあふれています。

そうした多摩丘陵地に在って、せめて雰囲気と想像力だけでも味わっていただけましたら幸甚です。場所を共にすることはできませんが、せめて画像と音声だけでもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

日本技術史教育学会2021年度総会・研究発表講演会開催案内

2021年度総会・研究発表講演会実行委員会
実行委員長 山館 順(サレジオ高専)

日時:2021年6月12日(土), 9:30~16:30

主催:日本技術史教育学会

共催:日本メカニズムアーツ研究会

場所:サレジオ高専(オンライン開催)

【プログラム】

9:30 実行委員長挨拶

9:35 会長挨拶

《技術史・技術文化史Ⅰ》

- 9:50~10:15 戦前・戦中の軍用機に見る技術と用兵に関する考察:彗星艦爆とゼロ戦による夜襲部隊について 岡崎昭仁(神奈川工科大)
- 10:15~10:40 高梁川合同堰(湛井堰)と十二箇郷用水敷設の歴史 南正晴(元三菱重工)
- 10:40~11:05 3次元レーザースキャナを用いた兵庫県多田銀銅山青木間歩周辺の測定○久間英樹(松江高専)、福岡久雄(東京電機大)、青木美香(関西大)

休憩 11:05~11:15

《技術論》

- 11:15~11:40 米、独、デンマークにおける大型風車の技術形成、1930 から 1980 年代にかけて(第4報)○飯野光政(足利大)、牛山泉(足利大)
- 11:40~12:05 米、独、デンマークにおける大型風車の技術形成、1930 から 1980 年代にかけて(第5報)○牛山泉(足利大)、永尾徹(足利大)、飯野光政(足利大)

昼食 12:05~13:10

《技術史・技術文化史Ⅱ》

- 13:10~13:35 ハンニバル像の変遷-明治中期-山館順(サレジオ高専)
- 13:35~14:00 段ボール発祥の地・荒川区南千住吉田喜一(元産業技術高専)
- 14:00~14:25 プータンの技術教育の変遷と課題(第2報):プータンの20年にわたる技術支援の視点から ○白井一(NPO 法人国際建設機械専門家協議会)、倉田純一(関西大学)、石田香澄(NPO 法人国際建設機械専門家協議会)

休憩 14:25~14:35

《工学教育》

- 14:35~15:00 福井県立こども歴史文化館所蔵の電気蓄音機に関する調査~これき蓄音機コレクションの教育活用について~ ○秋山肇(福井高専)、高岡萌(福井県立こども歴史文化館)
- 15:00~15:25 スターリングエンジン教材を用いた工学教育の変遷 星朗(東北学院大)
- 15:25~15:50 高等学校工業科専門科目と理科との連携および大学との連結性を考慮した工学教育-機械系の学習を化学系、物理系 ○丸山晴男(足利大)、中條祐一(足利大)

《特別講演》

- 16:00~17:00 美術系のデザイン教育
特別講演講師 坂元愛史(サレジオ高専)
- 17:10~17:40 2021年度総会報告
(書面送付結果報告)
- 17:40 実行委員長挨拶

【参加費】

・研究発表講演会参加登録費:3000円(講演論文集有)、1500円(講演論文集無)

【総会・研究発表講演会参加申込み】

オンライン講演参加には、メールアドレスが必要です(いただいたアドレス宛に、口座番号を含め参加に必要な情報をお送りいたします)。参加申込用紙をお送りしますので、以下のメールアドレスまでお申込みください。または、同封の参加申込用紙に記入し、下記まで郵送またはFAXでお申し込みください。6月4日(金)17時を期限とします。期限厳守に御協力ください。

【申込先】

takenaga@h.kisarazul.ac.jp

〒113-0023 東京都文京区向丘2-34-5 ホワイトマンション201 (株)プラスワン気付 日本技術史教育学会
2021年度総会実行委員会
FAX:03-3824-2611

【実行委員】

山館順(サレジオ高専・実行委員長)、武長玄次郎(木更津高専)、坂元愛史(サレジオ高専)、大島真樹(サレジオ高専)、米澤一孝(サレジオ高専)

「関西支部2020年度総会(通算第18回)

・研究発表講演会(通算第16回)」開催報告

2020年度関西支部 支部長 南 正晴(元三菱重工)

日本技術史教育学会関西支部 2020 年度総会・研究発表講演会が、2021 年 3 月 27 日(土)コロナ禍の中、オンラインにて開催されました。

新型コロナウイルスの感染拡大が治まらないため、昨年度全国大会(松江)での本学会初のオンライン形式による大会に引き続いて、関西支部としても初めてのオンラインでの開催にトライしました。ビデオ会議ツール Zoom を用いて、小職のパソコンをホスト役に必死のパッチでしたが、参加登録された方々、関西支部役員の御協力のおかげで、無事終了しました。

12 件の最新の研究発表があり活発な質疑・討論が繰り広げられ、牛山会長には、ご多用の折、最初から最後まで議論を引っ張って頂き、有意義なご指摘有難うございました。

《研究発表講演会》(司会:南)

下間先生より開会挨拶を、牛山先生より会長挨拶を頂いた後、講演に入りました。

講演は、技術論・機械技術史 4 件、技術文化史・教育 8 件、昼食後に、下間先生より関西支部 20 周年記念誌発行(2024.3)の素案の説明がありました。講演名、講演者を下記します。

1. 米、独、デンマークにおける大型風車の技術形成、1930 年代~1980 年代にかけて(第 2 報)・牛山 泉
2. 米、独、デンマークにおける大型風車の技術形成、1930 年代~1980 年代にかけて(第 3 報)・飯野 光政
3. 機械製図の文化の変革に関する研究-第 21 報 機械製図とものづくり白書-平野 重雄
4. 『潤滑グリース』その変遷と課題 II “リチウム複合石鹸グリースについて”・岡村 征二
5. 大谷光瑞と台湾・嘉南大圳・武長玄次郎
6. プータンの技術教育の変遷と課題(第 1 報)-プータンの 20 年にわたる技術支援の視点から-・白井 一
7. インダス文明遺跡の実地調査研究-インダス文明の中心都市・モヘンジョ・ダロ遺跡-・渡部 紘一
8. 南千住橋場の真先銭座-江戸のマニファクチュア-・吉田 喜一

9. 19 世紀におけるたたら製鉄により製作された刀の原材料「極上鋼」に関わる費用と日本刀の価値・鳥谷 智文

10. ハンニバル像の変遷-明治初期-山館順

11. 金沢城築城の歴史と石積み技術の特徴・南 正晴

12. 北千島(幌筵島)における港湾開発・井上 敏孝

(聴講者 6 名:下間 頼一、林 和宏、市川浩、鈴木夏夫、喜瀬 晋、橋本 洋)

《総会》(司会:岡村)

1. 2020 年度活動報告、会計報告、会計監査
2. 2021 年度活動計画(関西支部 20 周年記念誌発行素案:下間編集委員長)、予算計画
3. 関西支部:支部内規則(案)、本部総会に諮る。

以上、一部修正、全員賛成で承認されました。

林先生より閉会挨拶を頂きました。(来年は 3 月 26 日(土)または、19 日(土)で開催予定)

《懇親会》(司会:吉田)

吉田先生発案のオンライン懇親会にトライ、マスクを気にすることなく 1 時間があったという間に過ぎ、三三五五の解散となりました。



日本技術史教育学会2020年度関西支部総会・講演会

【 会 員 動 向 】

2021年4月30日現在の会員数を以下に示します。

顧問	正会員	学生会員	維持会員
5名	98名	6名	1団体

*新規会員の入会勧誘に、各位のご協力をお願い致します。

【 新刊紹介 】

- ◇同志社大学良心学研究センター編『良心から科学を考える』, 岩波書店, ISBN978-4-00-025581-3, 1760 円(税込み)
- ◇菊地 章編『学びを広げる教科の架け橋 教科架橋型教科教育実践学の構築』, 九州大学出版会, ISBN978-4-7985-0298-4, 4950 円(税込み)
- ◇上野 滋『精密計測機器の発達史&日本の測定機』, 大河出版, ISBN978-4-88661-728-6, 4180 円(税込み)

【その他の学会動向】

- ◇産業遺産学会(旧産業考古学会)第45回(2021年)総会に関して
総会は郵送で実施。見学会は中止。基調講演と研究発表会は6月26日(土)にZoomにて開催。詳細はホームページでご確認ください。
<http://sangyo-koukogaku.net/index.html>
- ◇日本科学史学会2021年度総会・第68回開催に関して。
開催日:2021年5月22日(土)、23日(日)
Zoomを用いたオンライン大会として実施します。
詳細は日本科学史学会第68回年会総会サイトでご確認ください。
<https://sites.google.com/view/kagakusi2021/>
- ◇日本産業技術史学会201年度(第37回)年総会に関して
9月11日-12日に延期して開催予定。詳しくはホームページをご覧ください。

【 理 事 会 議 事 録 】

◆第165回(通算208回)理事会

まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言の発出により、2021年4月開催予定の理事会を、5月中に開催予定。詳細は次号にて報告致します。

【 2021年度会費納入のお願い 】

ニュースレター125号に同封いたしました振込用紙で2021年度会費の納入をお願い致します。本学会の運営は会員の皆様の会費でおこなわれています。2020年度までの会費未納の方も、早急な会費の完納にご協力ください。

【2021年度総会の開催について】

新型コロナウイルスによる健康被害を食い止めるため、政府や地方自治体から、まん延防止等特別措置や緊急事態宣言が発出されていることもあり、日本技術史教育学会2021年度総会の開催は昨年度同様、書面による方式と致します。

このため、会員各位には事前に総会審議資料をお送りしますので、書面による審議をお願い致します。

送付資料には昨年同様、質問用紙を添付しますので、審議資料の記載内容に関する質問、意見、提案などがある場合は、この用紙にて担当者宛にご連絡ください。質問用紙の送付期限は、「2021年6月5日(土)・17:00(郵送では当日消印有効)」とさせていただきますので、宜しくご了承ください。

【 編 集 後 記 】

新型コロナウイルスが一向に収まる気配がない中会員の皆さまに於かれましては如何お過ごしでしょうか？

昨年は全国的な緊急事態宣言下ということもあり背総会・研究発表講演会は中止ということになりましたが、今年はWeb配信によるオンライン開催と致します。(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニュースレター 第126号
2021年4月25日 印刷
2021年4月30日 発行



技 術 史 教 育

Education for History of Technology

発行者
編 集

日本技術史教育学会 会長 牛 山 泉
日本技術史教育学会
(株) プラス・ワン気付 日本技術史教育学会 事務局
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-34-5 初々マンション 201

TEL/FAX:03-3824-2611

E-Mail: jseht@nifty.com